

2020 年度伊賀地区外国につながりをもつ子どもと保護者の進路ガイダンス

先輩からのメッセージ(聞き手:菊山順子さん)

1 人目 : F.T さん

J : それでは、今から先輩からのメッセージを皆様にお届けしたいと思います。

まず初めに自己紹介して頂きたいですけれども出身の中学、高校とお名前をお願いします。

T : はい。出身中学校は崇広中学校で高校は白鳳高校に通っていました。F.T と言います。

J : T 君今日はよろしくをお願いします。

T : よろしくをお願いします。

J : T 君は日本に来て何年ですか。どこの国出身ですか。T 君は違うんですね。

T : 生まれも育ちも伊賀ですずっと伊賀(日本)ですね。

J : ルーツに少し話してもらえますか。(補足)

T : ルーツは日本とブラジルのハーフです。ポルトガル語喋れないですけど…

J : ちょっとブラジル人の血が流れている?ちょっと違うかな?

T : だいぶかもしれない…

J : 今はどこの専門学校に行っているのですか?

T : 大阪の森ノ宮医療学園専門学校、柔道整復師で整骨院の資格を取る学校に通っています。

J : 今行っている専門学校に、いつからそこに行こうかなと思ったのですか。

T : 行こうと思ったきっかけは部活。バスケット部だったんですけど、部活している時にケガをして整骨院に通っている時に自分もこういう仕事してみようかなと思って、2 年生の時に学校の体験入学に行って、それからしばらく何回か行って、学校の受験をした。

J : なるほど、あ、面白い仕事があるなということですかね!

T : はい。

J : 今行っている専門学校へ入るために、勉強も頑張ったと思うけれども、どんな工夫をして入るために頑張りましたか。

T : 僕は勉強が得意な方ではないので部活動と学校の出席。休まずに、3 年間部活も続けて受験受かりやすくするために頑張りました。

J : なるほど、それは上手く傾向と対策を練って。ちょっと苦手なところもあるけれども、自分ができることで休まずに学校へ行くということ、それから部活を頑張るっていうことで行けるようになったわけですね。

T : はい、そうです。

J : 今までの小学校、中学校、高校、専門学校で学校の中で楽しいなと思うことは、どんなことですか。

T : そうですね、自分は部活やっている時がけっこう高校の時、中・高とも楽しかった。

だから続いたのかなと思います。

J：部活での友達関係？

T：友達関係も良かったですし、そのまま部活の友達と遊びに行くのも楽しかったですし、そういう人間関係がうまくいったので楽しかったです。

J：逆に辛かったな～、しんどかったな～ってありますか。

T：辛かったな～っていうのは小学校の時に、僕がまだ小学校の時に自分の地区ではあまり外国籍とかハーフとかほとんどいなかったのでもその地区の子があまり見慣れていないからってあって、ちょっとなんかで慣れていない感じで関わりにくかったりしたので、そこがちょっと嫌だった…

J：なかなか自分が行ってる学校の中で自分の居場所見つけることが出来なかったですね。

T：そうですね、その時一番辛かったなって思います。

J：小学校の時辛かったけど、それは中学校へ行ったら大丈夫だったのかな。

T：中学校へ行ったら、友達の幅も広がって、色んな友達と仲良くなって、また高校に行ったら、そのまた色んな友達も増えてって楽しい生活を送れたなと…

J：なるほど。自分の中で頑張れたのはやっぱり友達、仲間がいてくれたことっていうのが大きいですかね。

T：そうですね。

J：友達の支えがあったからこそ今の自分があるということなので、そういうことをこれからもずっと大事にしていきたいと思っていますか。

T：そうですね、友達だけじゃなくて将来のためにも色んな年代の人と関わることも大切だと思ってるので、やっぱり色んな人とコミュニケーションをとって将来に繋げていきたいなと思います。

J：なるほど。自分の辛かったことの経験を生かして、人が大事っていう風なことかな。

T君のこれからの夢ってなんですか。

T：これからの夢…自分の趣味に生きていきたいですけど、それだけじゃ生きていけないので趣味のために仕事を頑張って趣味に費やしていきたいなと思っています。

J：ちなみに趣味はなんですか。

T：趣味はバイクと車なので、乗ること。

J：はい、自分の好きなバイクや好きな車を買うためには一生懸命働かないとダメですね。

T：そうですね。

J：今は3年生ですね。

T：はい

J：就職に向けて頑張ってもらいたいと思います。最後に一言何か皆さんにメッセージをお願いしますか。

T：今高校生、中学生のみんなには学校を続けること、部活動をする、あとは部活出来ない場合はバイト3年間を続けて家庭を助けたり、出来ることがあると思いますのでそれ続けることによって将来に繋がる人が多いと思うので3年間頑張ってください。

J：ありがとうございます、続けるっていうことが大事ですね。

T：続けることが大事です。

2人目：N. Y

J：自己紹介をお願いしています。名前と大学と今のお仕事をお願いします。

K：関西外国語大学出身のN. Kです。現在は伊賀市役所の市民生活課で仕事をしています。

J：日本に来て何年ですか。

K：私は日本生まれで6歳の時に一度ブラジルへ行き、9歳の時にまた日本に帰ってきました。

J：ルーツはブラジルですか。

K：そうです

J：出身の小学校、中学校、高校をお願いします。

K：西小学校、崇広中学校、白鳳高校出身です。

J：白鳳高校で何を勉強していたのですか。

K：経営を勉強しました。

J：関西外国語大学の大学にいつから行こうと思いましたか。

K：高校2年生の時に英語の先生へ英語褒められて、高校2年生の時に関西外国語大学へ行こうと思いました。

J：英語を。関西外国語大学では何を勉強したんですか。学部は？

K：外国語学部のスペイン語学科でした。

J：英語を褒められたけど行った大学はスペイン語学科

K：そうですね、小さい頃から周りにスペイン語を話す方が多かったので、すごくスペイン語も好きで英語も褒められ、うれしかったので、どちらも出来る大学を探していたら関西外国語大学があったのでそこにしました。

J：でも出身ブラジルだから話せる言葉は違うよね。

K：そうですね。ポルトガル語ですけれど、スペイン語も凄く似ていて勉強しやすかったですね。

J：今は、ポルトガル語とそれからスペイン語と英語と日本語と4か国語が出来る相談員ですね。

K：そうですね

J：素晴らしいですね。大学へ行くためにどんなことを頑張りましたか。

K：受験が英語だったので、英語をメインに勉強しました。

J：ポルトガル語が出来て英語ってちょっと似てるような、似てないようになって大丈夫でしたか。

K：そうですね、似てる部分はあったので凄く勉強はしやすかったですね。

J：日本の学校で楽しかったこと、良かったことってありますか。

K：そうですね、私の場合は周りの子達が凄くポルトガル語、まあブラジルに興味を持ってくれていたので声をかけてもらったりとかあったので凄く嬉しかったですね。

J：どちらかというと外国ルーツだとイジメられるっていうイメージがあるんだけど、そんなのは全然大丈夫だったの。

K：そうですね、私の時は大丈夫でした。逆に凄く興味を持ってくれて色んなこと聞かれた

りしていました。

J：友達がどんどん増えていった。

K：ブラジルを紹介する機会が…

J：辛かったこととか大変だったこと苦労したことってどんなことがありますか。

K：そうですね、今もですけど、漢字が凄く難しくって、来た時から凄く苦手でしたね。

J：私はYちゃんのことよく覚えているんだけど、あの…学習支援のささゆり教室に小学校、中学校って凄く頑張っていてくれていて、その時いつも一生懸命漢字を勉強していたのを覚えていて、その時から漢字を克服したいと…

K：苦手でしたね。凄く漢字は好きだったのでそんなに辛くはなかったですけど、まあ難しかったですね。

J：やっぱり漢字をクリアできれば色々なことわかってくるんですね。色々なこと今までやったと思うんだけど、それを乗り越えるためにどんなことがありましたか。誰かに助けてもらったりとか、自分で頑張ったことがありますか

K：そうですね、一番は周りに先生方に凄く助けられました。小学校の時から凄く優しい先生が周りにはたくさんいたので分からないことだったり、ちょっと辛いことがあった時は先生に相談したりしました。

J：キーワードは助けてもらう先生を見つけるってということ！

K：そうですね。

J：いつもYちゃんの近くにはそんな先生がいてくれたのかな。

K：そうですね、小学校から1人はいます。

J：やっぱり助けてもらうってことは大事なな。

K：そうですね。

J：自分だけでは頑張らない。

K：そうですね。

J：今市役所で仕事をしていけども、将来にもっともっとなにか大きな夢ありますか。

K：そうですね、今、英語は全然完璧じゃないので留学だったり、ワーキングホリデーとかで英語を取得できたらと思います。

J：英語も完璧になったらもう怖いものない感じですね。

K：そうですね。

J：伊賀にずっといてくれたら嬉しいですけど、そこまでできたらどっかに行っちゃうかも？

K：そうですね、でも伊賀が凄く好きなので、伊賀で活躍をしたいですね。

J：ありがとうございます。後輩に一言何かお願いできますか。

K：まずはやりたいこと、興味を持つこと、何かに興味を持ってそこから目標を決めて、あきらめないでっていうのが一番ですね。周りの方に多分色々なことと言われると思いますけど、本当にやりたいことが見つかったら、多分頑張れるのであきらめないで何かを見つけてほしいです。

3 人目 T. M

J：お名前、高校、自己紹介をお願いできますか。

M：白鳳高校のT. Mです。

J：学科はどこですか。

M：建築デザイン科です。

J：日本に来て何年ですか。

M：私は日本生まれの日本育ちですと日本です。

J：そうなの。えーと、ルーツはどこですか。

M：タイです、両方とも。

J：お父さんもお母さんもタイ人。

M：はい。

J：そうなんです。出身の中学校はどこですか。

M：城東中学校です。

J：城東中学校！今は白鳳高校の建築の方デザインに行ってるんだけど、この高校選んだのはどうしてかな。

M：私は絵を描くのが好きで中学校2年生の頃に友達が「あなたの絵見てるの好きやわ〜」とか「見ていて笑顔になれるな」と言ってくれて、それで私も絵を描く道に進みたいなって。父も絵を描いてたので私もちょっと絵を描く方で頑張ってみようかなって思って。

J：なるほど、「もしかして私、絵の才能がある」と思ったかな。

M：いや、そこまでないけど人の笑顔を見たいですね。

J：なるほど、絵で人の笑顔を見たいですね。白鳳高校デザインの方へ行こうと思ったのはいつから思ったのですか。

M：本当は中学校2年の最後くらいで、ほんとギリギリで間に合うかなっていう時期でした。

J：受験まであと1年っていうところでなんとなくコースが見えてきたって感じかな。

M：それまではどこかの普通科とかに行って、いいとこの大学入って、適当に就職しようかなと考えてたんですけど…

J：何となく目標になる夢が見つかったってことですね。今の高校に行くためにいつからどんな勉強しましたか。

M：中学校3年の初めの方で、今まで先輩達に散々「中1から勉強しろよ」とか言われてたんですけど、やっぱり夢がないとやる気になれないし。中学校1、2年の頃って、「中学校3年生で勉強すれば間に合うしいかな」と思う部分がやっぱりあったんですよ。でも危機感を感じて、中学3年からずっと必死に勉強をしてなんとか…

J：なんとか！前期で合格かあ。

M：そうです。

J：前期は国語なんだけど、どうでしたか。国語大丈夫でしたか。

M：国語は大得意っていうか、小さいころから周りのみんながドラマ観てるにも関わらず、私は水戸黄門や暴れん坊将軍をずっと観てたので日本語が得意でした。

J：日本語が得意だし、歴史的なドラマを観てたから。国語が得意だったから白鳳高校前期

試験がバッチリだったんですね。

M：本当、運が回ってきたみたい。

J：いつも外国籍の皆は国語（が試験にあるから）は（前期選抜で得点が）難しいだろうな
と思っているんだけど、ラッキーな子もいたってことですね。

M：はい。

J：日本の学校で小学校、中学校、今もですけど、どんなこと楽しいですか。

M：まずはやっぱり友達が出来るとは嬉しいことですよね。あと、私は日本が好きなので
日本の歴史を学ぶことが本当に大好きで。教わったことから新たな考えを広げていくって
いうのが好きなので私は…

J：凄いね。

M：だから社会とか歴史の時間はほんといつも楽しめて、前日に教科書を読んで予習とかし
ていました。

J：外国籍のみんなが国語とか、歴史とか、社会が苦手なんだけどMさんはちょっと違うね。
苦労したこと、しんどかったことってありますか。

M：やっぱり人間関係上手くいかなかったことがありました。小学校の頃とか外国人だから
なのか、私が悪いのか分からないんですけど、無視されたりとかしたことはあったんです
けど。高校生になってから考え方も変わるし、新しい友達もできるし、ほんとに今までずっ
と楽しいです。

J：小学校の時辛かったけど中学校に入ってそれを乗り越えて来た。その頑張れたっていう
のはやっぱり友達がいたからかな。

M：はい、友達です。やっぱり学校でも辛いことあって、家でも辛いことがあって。もうほ
んと、耐えられない時に中学校で出来た友達にポツリとこぼしたら、その子も同じ環境で育
って同じ悩みを持っていて、悩みを共有して。私とその同じ環境の子と全然同じ環境じゃな
い子がいるんですけどその子も親身になって聞いてくれて、自分も変わっていったのでほん
とよかったです。

J：そういうことある。友達っていうのは、自分とやっぱ辛いこととかしんどいとかを話
し合える友達ができること、いることっていうのが何でも頑張れるってきっかけになるのか
な。

M：やっぱり親がいるとちょっと緊張しちゃう部分もあるじゃないですか。でも友達と一緒
だったらもう馬鹿をしても、馬鹿なことをしてもお互い笑っているし。よく学校の帰り道と
かも一緒大声上げながら自転車を漕いだりして、そのときがストレス発散の1番。カラオケ
に行ったりするのもストレス発散になるんですけど、そういう何気ない友人との会話が1番
ストレス発散になるので本当に楽しいです。

J：いい友達。これからずっと大事にして欲しいですね。今、高校でグラフィックデザインで
すね！建築の勉強しているけれど、どんな夢がありますか。

M：それはもう中学校2年の頃に友達が言ってくれたみたいに自分の絵で人のことを笑顔に
して、ゆくゆくはミュージックビデオの絵を描いてみたい夢はあります。

J：ミュージックビデオどんな感じが分からないけど凄いな。

M：色んなアーティストのやつ描いてみたいです。

J：後輩達に何か一言お願いできますか。

M：頑張り過ぎるのも大切だけど、辛かったら逃げてもいいですよ。

私も逃げてた時もありましたので。一回逃げて気持ちが整って、そしてまた向き合うと色々な発見があるし。逃げるなっていう人も多いと思うんですけど、私はもう逃げてもいいと思うし、夢が見つからなかったら無理して探さなくってもいいと思う。直前になって何気ない一言で出来る夢とかもあるんで、ゆっくりでいいので…。人生長いので楽しんでいきましょう。

J：ありがとうございます。

M：はい。

4人目：S. C

J：自己紹介をお願いします。名前と今行ってる高校の名前を教えてください。

C：S. Cです。通っている高校は上野高校定時制です。

J：日本にいつ来ましたか。

C：日本生まれなんですけど、ペルーへ行ったり来たりしていたので最後に来たのは2016年6月辺りに来ています。

J：日本に来た時、C君はいくつでしたか。

C：15歳だと思います。

J：15歳か16歳、確かC君は中学校に入れなかったんだよね。

C：はい。

J：日本の中学校に入らずに高校へ入るために勉強をしていた？

C：はい。

J：ペルー行ったり、来たりってC君はペルー人かな。

C：はい。

J：高校に入るために、中学校に行かないで高校へ入って大変だったと思うんだけど、どんなに頑張りましたか、どこで勉強をしたか、どうですか。

C：最初の頃は公文に行ったりとか、後はおじさんの誘いで仕事をちょっと会社で始まったりして。「ささゆり」でも勉強をしましたっていう感じです。

J：「ささゆり」で一緒に勉強をしましたよね。高校へ入るために日本語もだし、英語とか数学とか、国語も大変でしたね。

C：はい。

J：日本に来て、働こうじゃなくって、高校で勉強しようと思ったのはどうしてですか。

C：子供の頃からそういう感じにしたかったので、そのままそういう感じにした。

J：ということは、日本で勉強したいと思ってた。

C：はい。

J：中学校で終わるんじゃないかって、高校も勉強して次は専門学校だったり、大学とかにも行きたいと思ってた。

C : はい。

J : 高校に入ることが、頑張って実現できて、次に繋がるっていう感じだね。

C : はい。

J : 学校は楽しいですか。

C : はい、楽しいです。

J : どんなことが楽しい。

C : 勉強や友達関係が楽しいです。

J : 勉強が楽しいっていうのが凄いな。でもやっぱり大変なことがあると思うんだけど、日本の学校の勉強で大変なことってなんですか。

C : 勉強でちょっと難しいと思ったのは漢字です。

J : 大体みんなが漢字が大変だって言いますね。その難しい漢字を一生懸命覚えるために何か頑張ったことがありますか。

C : みんなに聞いたり調べたりしています。

J : 先生に、友達に？

C : 先生や友達にも、たまにまあネットで…

J : 調べたり…。だいぶ漢字を分かるようになってきたかな。

C : だいぶっていうレベルじゃないと思うけど…

J : これから定時制高校を…今は3年生かな。

C : はい。

J : あと1年半くらいなんだけど、この後はどんなことをしたいと思っていますか。

C : このまま思ってたように進学して、仕事を…まあ良い仕事を見つけて…

J : そしたらやっぱり日本で勉強を…大学まで行って、勉強続けて、日本の会社で働きたい。

C : はい。

J : ずっと日本に居たいかな。

C : はい。

J : これからの夢っていうのはどうですか。他にあるかな。

C : 日本に生活しながら、徐々にその日本語力も増やしていきたいです。

J : C君は多分仕事をしてお母さん助けようと思ってるでしょ。

C : はい。

J : いつも優しい顔をしてお母さんを見ているC君を見ているので。

中学生の人たちに一言お願いできますか。

C : 頑張ってください。

J : 頑張ってください。みんながんばれるのかな。

C : そう…

J : C君が本当に頑張っていたのを見てたから、みんなにそのことを言って欲しかったです。今日はありがとうございました。